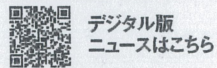


長崎

九州



デジタル版
ニュースはこちら

長崎総局
長崎市万才町8-22
TEL 095・822・1231
FAX 095・822・1137
s-nagasaki@asahi.com
佐世保支局
佐世保市天満町1-9
TEL 0956・22・9131
FAX 0956・22・5008
島原支局0957・62・2518

購読・配達のご用は
0120・33・0843(7~21時)
広告のご用は(朝日広告社)
093・592・7054
折り込みのご用は 092・526・1231

きょうの天気

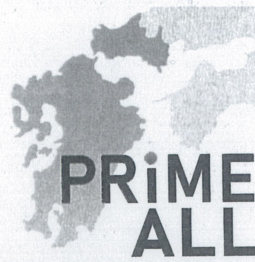
6~12時 降水確率 12~18時

0	長崎	0
0	佐世保	0
0	平戸	0
0	島原	0
10	福江	0

長崎	北北東	北	島原
佐世保	北北東	北北東	福江
平戸	北北東	北北東	佐世保
島原	北北東	北北東	佐世保
福江	北北東	北北東	佐世保
温度	最高	最低	
長崎	27度	19度	
佐世保	27度	19度	
平戸	25度	20度	
島原	28度	19度	
福江	26度	20度	

長崎	東北東	北	島原
佐世保	東北東	東北東	福江
平戸	東北東	東北東	佐世保
温度	最高	最低	
長崎	27度	19度	
佐世保	27度	19度	
平戸	25度	20度	
島原	28度	19度	
福江	26度	20度	

月齢22.0



「南西シフト」背景 膨らむ予算

防衛省は2027年度予算の概算要求で、過去最大の8兆8908億円を計上した。台湾有事を念頭に置く「南西シフト」などを背景に九州・山口にも巨額の税金が投じられ、今後さらに膨らむ見通しだ。

ミサイル配備や弾薬庫建設…

金額明示せぬ「事項要求」多数

今回の概算要求の特徴は、金額を明示せず事業の項目や内容だけの「事項要求」が多いことだ。主な装備品の数や必要予算を定める「防衛力整備計画」など日本の外交・安全保障に関わる安保関連3文書が26年中に改定予定で、予算はそれ以降に改めて決まる。このため、最終的に大幅に増額し、10兆円を超える可能性が指摘される。

事項要求は、九州・山口の関連施設や装備でも随所に見られる。

その一つが、国内で初めて熊本市の陸自健軍駐屯地に配備された射程1千キロ程度の「25式地对艦誘導弾」関連。敵の射程圏外から攻撃できる「スタンド・オフ・ミサイル」で、中国の沿岸部や台湾周辺の海域にも届く。

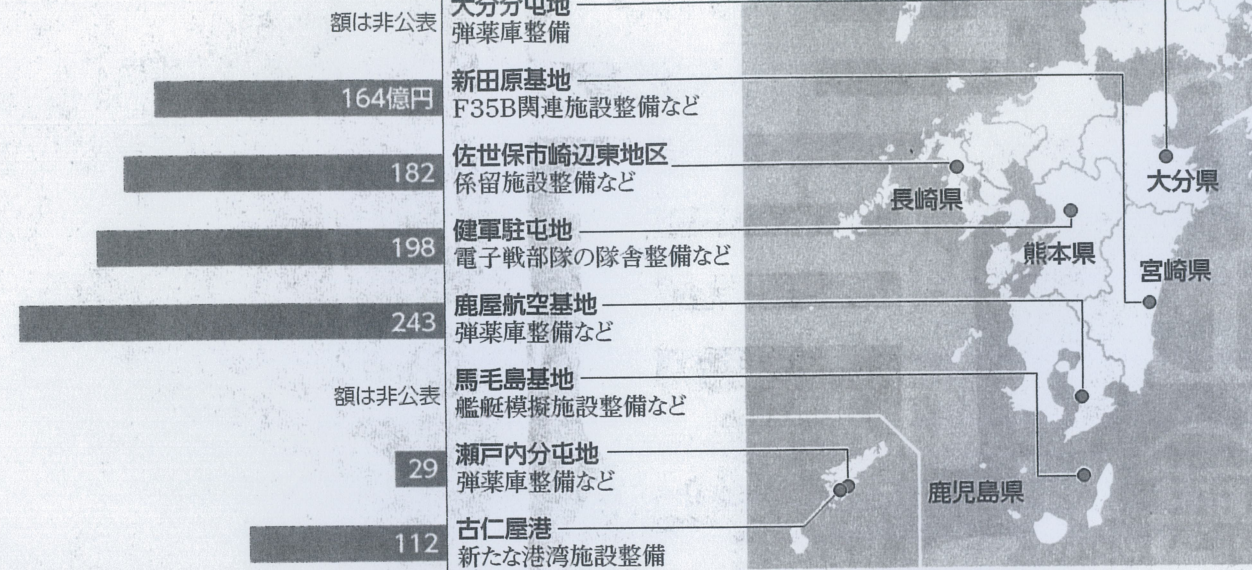
今年3月に同駐屯地に運び込まれた際は、外国からの攻撃対象になることを懸念する市民らが集まり、反対の横断幕を掲げたが、防衛省はスタンド・オフ能力を重視している。ミサイル(弾)などの取得に1575億円が計上されたことに加え、配備先は示していないが、発射装置の取得も事項要求として挙げられた。

また、スタンド・オフ・ミサイルの一種で島嶼防衛用の「25式高速滑空弾」は今年度、陸自えびの駐屯地(宮崎県えびの市)に配備予定だ。この発射装置とミサイルなどは361億円の予算が計上された上で、事項要求も付された。

スタンド・オフ能力の保有が現行の3文書に明記されて以降、ミサイルの配備と合わせて各地で進められているのが弾薬庫の建設だ。今回は改修・立て替えを含む工事費に計1401億円が盛り込まれているが、3文書改定によって棟数と額がさらに増やされる可能性がある。

同省は「防衛上の秘密」としてミサイルの弾をどの弾薬庫に保管するか明かしていないが、陸自大分分屯地(大分市)で新たに建設されて

概算要求で示された主な事業と額



いる大型弾薬庫は、その一つと見られている。

周辺の住民から反対の声が上がる中、8月に1棟目が完成し、5棟目まで工事が始まっている。概算要求では8、9棟目の工事費が盛り込まれた。陸自瀬戸内分屯地(鹿児島県瀬戸内町)でも、弾薬庫3棟の工事費が計上された。

200億円ステルス機、取得着々

九州がスタンド・オフ・ミサイルや部隊の主な担い手となっているのは、「台湾有事」などを念頭に防衛力強化を図る「南西シフト」のためだ。その一環として新たな軍用機の配備も進められる。

空自新田原基地(宮崎県新富町)は、最新鋭ステルス戦闘機F35Bが国内で唯一置かれている。25年8月から8機が配備され、訓練による騒音被害が増大した。負担への対応策として、町は住民1人につき年2万円を給付することを決め、今年度分の振り込みを10月から始める。

1機が約200億円するこの機体を、防衛省は31年度ごろまでに同基地で約40機に増やす計画



新田原基地でデモ飛行するF35B(2025年9月17日)

だ。F35Bの取得も今回の事項要求として挙げており、機数や額は未定。「空自全体の態勢、戦力のありかたに直結するので、3文書の改定を待つ必要がある」という。

海自鹿屋航空基地(鹿児島県鹿屋市)では、



鹿屋航空基地で公開されたシーガーディアン=2024年6月、鹿児島県鹿屋市

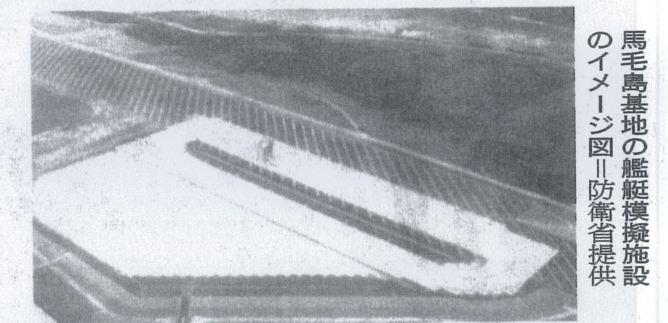
無人偵察機シーガーディアンMQ9Bを31年度ごろまでに約10機態勢にする計画があり、27~29年度に配備される6機は予算措置がされている。今回、海自八戸航空基地(青森県)に配備される分も含め新たに17機分の2922億円を概算要求に挙げた。

馬毛島の新基地、支出1兆円超

沖縄の辺野古基地建設と並ぶ防衛省の巨大事業が、鹿児島県西之表市の無人島、馬毛島での工事だ。陸海空が各種の訓練を行う空自基地を新設し、米軍岩国基地に所属する空母艦載機の陸上離着陸訓練(FCLP)の受け入れも予定されている。

基地本体の工事は23年1月に始まり、工期は約4年を見込んでいたが、離島への資機材の海上輸送が難航するなどして、完成時期は約3年遅れて30年3月末に変更された。防衛省は、25年度までの支出額が1兆円を超えたと取材に対して明らかにした。

今回の概算要求では、F35Bが発着艦訓練をする施設の工費を計上したが、「入札に支障がある」として額を明らかにしていない。「いずも」型護衛艦の甲板を模した施設で、週2~3日、年間約100日の訓練が予定されている。



馬毛島基地の艦艇模擬施設のイメージ図(防衛省提供)

「軍事が独り歩きする危険」

防衛予算が膨らんでいく現状を、どうみればいいのか。

佐道明広・大阪成蹊大学特別招聘教授(安全保障論)は、今回の概算要求が予想以上の大きさだとして上で「増額ありきで『聖域化』された中、軍事が独り歩きをしていく危険を覚える」と話す。

一方、「基地や弾薬庫など(他国から)攻撃対象になる危険性が増すが、周辺住民を保護する施策はほぼ見られない」と指摘。「住民自身が、どのような防衛予算で地域で何が行われようとしているのかに注意を向け、自らの安全や保護のために国や自治体に声を上げるべき状況にある」としている。